

大鹿村中央構造線博物館たより 61号



月・火曜日休館

TEL&FAX: (0265) 39-2205 E-mail: mtl-muse@osk.janis.or.jp

6月12日、南アルプスがユネスコエコパークに登録されました！ユネスコエコパークは日本での呼び名で、正式には「生物圏保存地域」といいます。ユネスコが認定する国際的な保護区で、自然や文化を守りながら、地域社会の発展を目指します。また、認定には、登録後も活動を続けることが必要です。私たちも地域に根差した博物館として、南アルプスの将来について、村民の皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

ジオパーク全国大会に向けて、勉強会のお知らせ

今年9月、『南アルプスジオパーク中央構造線エリア（富士見町・伊那市・大鹿村・飯田市）』において、「日本ジオパーク全国大会」が開かれます。大会に向けて、6月は第2、第3回目の勉強会を開催します。参加費は無料です。途中回のみ参加も歓迎します！

なお、内容は変更する場合がございます。予めご了承ください。

第2回「大鹿村のジオサイトで見えるもの」

◇ 日時：6月18日（水）午後7時～9時 ◇ 場所：大鹿村中央構造線博物館 学習室

第3回「大鹿村のジオサイト看板めぐり」

- ◇ 日時：6月29日（日）午前9時～午後4時
- ◇ 集合・解散場所：大鹿村中央構造線博物館
- ◇ コース（予定）：博物館出発（数台の自動車、乗り合いで行く予定）→ 北川露頭 → 河合の中央構造線鞍部 → 夕立神展望台 → 上蔵集落 → 博物館 → 安康露頭（→ 時間があれば 大西公園）→ 博物館にて解散
- ◇ 持ち物：昼食、雨具
- ◇ 小雨決行（大雨の場合は中止）

NHK長野放送局「イブニング信州」で紹介されました！

5月26日（月）～30日（金）、イブニング信州（NHK 18:10～）で南アルプスが特集されました。大鹿村からは、鹿塩の塩水や中央構造線が取り上げられ、博物館からは生中継も行われました！

短い中継時間でしたが、レポーターの松岡忠幸さん始め、スタッフ全員が非常に協力的で、展示の解説時間もぴったりという、大成功を収めることができました。

長野県内のみでの放送となりましたが、「テレビで見ました！」と声をかけてくださる方もおり、ますます注目度が高まっていることを実感しています。博物館も紹介されるだけでなく、展示・解説を充実させるなど、日々精進して参ります！

立山黒部ジオパーク推進協議会が南アルプスジオパークを視察

日本ジオパークネットワークに加盟申請中の「立山黒部ジオパーク推進協議会」から、事務局職員やガイドなど、20名が南アルプスを視察に来られました。伊那市と大鹿村を訪問し、5月16日（金）、中央構造線博物館を見学されました。

立山黒部ジオパークは、富山県東部の富山、魚津市など9市町村や、日本海を含む地域を申請中です。

近年、立山黒部だけでなく、全国各地にジオパーク認定を目指す運動が広がっています。大鹿村は南アルプスジオパークとして認定済みですが、これからジオパークを目指す地域とも切磋琢磨し、地域を挙げて活動していきましょう！



そもそもジオパークって？

ジオパークは大地の歴史を学び、楽しむことのできる「地球の公園」です。そこに根付いた生き物も、ヒトの暮らしも、ジオパークの一部です。

秋葉古道歩き隊ウォーキング（居森山コース）に参加

5月31日（土）、秋葉古道歩き隊のウォーキングに参加しました。博物館としては、途中、河合の断層鞍部（あんぶ）で解説を行いました。

大鹿村の河合には、断層の活動で弱くなった岩石が浸食されて低くなっている、断層鞍部という地形があります。舗装の下には中央構造線が通っています。鞍部を結んで、古代から人々が往来し、「秋葉街道」となったのです。



伊那市の露頭調査に参加

6月2日（月）、伊那市長谷の美和湖畔、長谷グラウンドの下にある露頭（岩石や地層が地表に露出している部分）の調査に参加しました。水で泥や細かい砂を洗い流し、残った石などは手作業で取り除きました。

写真手前の、色の薄い所が内帯の岩石、奥の黒っぽい所が外帯の岩石です。このように、大地がずれ動いてできた、2種類の異なる岩が隣り合っている境目が構造線です。一般公開は未定ですが、この露頭では中央構造線の隣り合う岩の違いをはっきりと観察することができます。

